

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月14日

上場会社名 株式会社グリムス 上場取引所 東
 コード番号 3150 URL <http://www.gremz.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中政臣
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 阿部嘉雄 TEL 03-5769-3500
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	6,552	17.5	809	28.4	882	31.3	552	38.8
29年3月期第3四半期	5,578	12.3	630	49.0	672	50.2	398	27.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 552百万円 (38.8%) 29年3月期第3四半期 398百万円 (27.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	95.11	94.88
29年3月期第3四半期	69.10	68.77

(注) 平成29年8月10日開催の取締役会決議に基づき、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき1.5株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	6,091	3,330	54.5
29年3月期	5,363	2,931	54.4

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 3,320百万円 29年3月期 2,916百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
30年3月期	—	15.00	—		
30年3月期（予想）				10.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年8月10日開催の取締役会決議に基づき、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき1.5株の割合で株式分割を行っております。そのため、平成30年3月期における期末の予想配当につきましては、株式分割後の数値を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の期末配当額は15円00銭になります。また、通期の1株当たり配当予想につきましては、株式分割の実施により単純合計が出来ないため、表示しておりません。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	26.6	830	10.4	920	14.7	559	10.6	96.27

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

平成29年8月10日開催の取締役会決議に基づき、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき1.5株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	5,822,700株	29年3月期	5,822,700株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	6,746株	29年3月期	17,433株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	5,811,952株	29年3月期3Q	5,765,194株

（注）平成29年8月10日開催の取締役会決議に基づき、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき1.5株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、米国の政策動向の影響や新興国の経済動向など世界経済の不確実性があるものの、企業収益や雇用情勢の改善傾向が続き、緩やかな回復基調で推移しました。

このような経済状況の中、当社グループは、エネルギーコストソリューション事業において、電力基本料金削減コンサルティング、LED照明の販売、電子ブレーカー既存顧客のリースアップに伴うリプレイス販売、電力料金の削減を目的とした電力の取次、業務用エアコンや冷凍機などの省エネ商品の販売、スマートハウスプロジェクト事業において、住宅用太陽光発電システムや蓄電池等のエネルギー関連商品の販売、4月より新たな事業セグメントとなった小売電気事業において、電力の小売を推進するなど、省エネルギー・創エネルギー・蓄エネルギーといったエネルギーに関連する様々な商品・サービスを提供してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は6,552百万円（前年同四半期比17.5%増）、営業利益は809百万円（前年同四半期比28.4%増）、経常利益は882百万円（前年同四半期比31.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は552百万円（前年同四半期比38.8%増）となりました。

事業別の状況は、以下のとおりであります。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、第1四半期連結会計期間において変更したセグメント区分により作成しております。

〔エネルギーコストソリューション事業〕

エネルギーコストソリューション事業につきましては、業務用エアコン・冷凍機・コンプレッサーなどの各種省エネ設備のセット販売やクロスセル、電力料金の削減を目的とした電力の取次手数料が好調に推移しております。その結果、エネルギーコストソリューション事業の売上高は3,103百万円（前年同四半期比18.1%増）、セグメント利益は951百万円（前年同四半期比31.7%増）となりました。

〔スマートハウスプロジェクト事業〕

スマートハウスプロジェクト事業につきましては、ハウスメーカーとの提携販売やVPPの活用といった多様な販売手法を積極的に推進してまいりました。提携販売は好調に推移し、塗装・リフォームなど外注工事は堅調に推移しましたが、売電価格の低下や、各種補助金の申請手続きの増加により受注から売上計上に至る時間が伸長したこと等の要因により、住宅用太陽光発電システム・蓄電池に関連する売上が減少しました。メガソーラー2基を中心とする太陽光発電所による売電収益は、ストック収益として安定的な収益基盤となっています。その結果、スマートハウスプロジェクト事業の売上高は2,649百万円（前年同四半期比8.6%減）、セグメント利益は166百万円（前年同四半期比23.4%減）となりました。

〔小売電気事業〕

小売電気事業につきましては、負荷率（最大電力に対する平均電力の比率）が低く電力料金の削減余地が高いエネルギーコストソリューション事業の既存顧客を主な対象として電力の小売を推進し、約80%といった高い成約率をもとに順調に収益を伸ばしております。また、電力の調達コストも安定的に推移しており、順調に利益を伸ばしております。その結果、小売電気事業の売上高は779百万円（前年同四半期はなし）、セグメント利益は32百万円（前年同四半期は17百万円の損失）となりました。

〔インキュベーション事業〕

インキュベーション事業につきましては、Webサイトを利用した商品販売において広告宣伝費を抑制したことにより、受注は減少傾向で推移しました。なお、平成29年10月1日付で株式会社グリムスペンチャーズ（現株式会社ペットシア）の全株式を譲渡したことにより、平成29年10月以降、インキュベーション事業の業務活動を行っておりません。その結果、インキュベーション事業の売上高は20百万円（前年同四半期比60.0%減）、セグメント損失は9百万円（前年同四半期は9百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は4,533百万円となり、前連結会計年度末に比べ766百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が110百万円、売掛金が576百万円増加したことによるものです。固定資産は1,558百万円となり、前連結会計年度末に比べ38百万円減少いたしました。これは主に長期貸付金が20百万円増加する一方、建物が12百万円、機械及び装置が44百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は6,091百万円となり、前連結会計年度末に比べ728百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,783百万円となり、前連結会計年度末に比べ585百万円増加いたしました。これは主に、買掛金が368百万円、未払金が57百万円、未払法人税等が47百万円、賞与引当金が68百

万円増加したことによるものです。固定負債は978百万円となり、前連結会計年度末に比べ255百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が251百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は2,761百万円となり、前連結会計年度末に比べ329百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は3,330百万円となり、前連結会計年度末に比べ398百万円増加いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益により552百万円増加する一方で、剰余金の配当により154百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月15日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,118,852	3,229,814
売掛金	126,343	702,670
商品	382,643	435,507
貯蔵品	180	—
前払費用	45,126	77,739
繰延税金資産	47,501	67,018
その他	45,764	20,654
流動資産合計	3,766,410	4,533,405
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	79,395	66,426
機械及び装置（純額）	907,748	863,595
車両運搬具（純額）	29,533	28,445
工具、器具及び備品（純額）	64,547	67,770
土地	119,149	119,149
建設仮勘定	9,139	13,876
有形固定資産合計	1,209,514	1,159,263
無形固定資産	17,552	10,751
投資その他の資産		
投資有価証券	151,129	137,152
長期貸付金	—	20,146
敷金及び保証金	170,343	174,990
その他	48,174	55,851
投資その他の資産合計	369,648	388,140
固定資産合計	1,596,715	1,558,155
資産合計	5,363,126	6,091,560
負債の部		
流動負債		
買掛金	225,040	593,991
1年内返済予定の長期借入金	416,138	450,520
未払金	253,552	311,211
未払法人税等	157,594	205,097
賞与引当金	—	68,173
その他	145,247	154,124
流動負債合計	1,197,573	1,783,118
固定負債		
長期借入金	1,176,338	925,148
資産除去債務	47,168	44,397
その他	10,401	8,525
固定負債合計	1,233,907	978,070
負債合計	2,431,481	2,761,189

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	599,249	599,249
資本剰余金	337,862	342,299
利益剰余金	1,983,666	2,381,532
自己株式	△4,664	△2,542
株主資本合計	2,916,112	3,320,538
新株予約権	15,532	9,833
純資産合計	2,931,644	3,330,371
負債純資産合計	5,363,126	6,091,560

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	5,578,690	6,552,242
売上原価	2,864,179	3,452,597
売上総利益	2,714,510	3,099,645
販売費及び一般管理費	2,084,047	2,290,117
営業利益	630,462	809,527
営業外収益		
受取利息	21	46
受取配当金	1,750	1,750
受取手数料	42,114	26,258
助成金収入	—	49,282
その他	5,776	2,406
営業外収益合計	49,663	79,743
営業外費用		
支払利息	6,902	6,174
その他	1,046	514
営業外費用合計	7,949	6,688
経常利益	672,176	882,582
特別損失		
固定資産除却損	276	8,774
固定資産売却損	12	997
投資有価証券評価損	—	13,977
減損損失	5,125	—
特別損失合計	5,414	23,748
税金等調整前四半期純利益	666,762	858,833
法人税、住民税及び事業税	245,208	324,170
法人税等調整額	23,195	△18,110
法人税等合計	268,403	306,059
四半期純利益	398,358	552,773
親会社株主に帰属する四半期純利益	398,358	552,773

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	398,358	552,773
四半期包括利益	398,358	552,773
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	398,358	552,773

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

特定子会社の異動には該当しておりませんが、平成29年10月1日付で株式会社グリムスベンチャーズの全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。なお、平成29年9月30日までの損益計算書については連結しております。